

〈もっとやりた〜い〉

今日は保育園児、幼稚園児との山遊びの日。40分、30分、30分の3コマ分行った。朝方までかなりの雨が降っていたので山遊びは無理かと思っていたが、開始時刻には晴れてきたので思い切って山で遊ぶことにした。雨の後で山は滑りやすくなっていたが、逆にそれをチャンスと捉え、いつもとは違う山遊びを楽しんでもらうことにした。今まで何度も崖の上り下りを経験している園児たちだが、今日の山は手ごわい。とにかく滑るので笹や木の根にしっかりつかまらなないと上れない。何度やっても上れない子がいて、「もっと易しい方を上ろうよ」と促したが、「やだ！絶対上る！」ときかない。膝もお尻も泥だらけにしながらやっと上れて満足そうな顔。逞しくなったものだ。夏に遊んだプールに雨水がたっぷりたまっていたので、プールの水をかきだしながら川を作って遊んだ。そのうち一人がプールに入ると次々に冷たいプールに入って水遊び。“そろそろ時間だからもう終わりだよ”と言っても、“もっとやりた〜い”と動かない。もう、誰も止められない。



崖を上れない子に手を差し出す子、“ガンバレ、ガンバレ”と励ます子、“〇〇ちゃんに水をかけられた”と泣き出す子、落ち葉や泥団子、木の枝で遊びを作り出す子、友だちと山遊びをしながら園児たちは確実に育っている。その現場をリアルタイムで見られるのはなんとも嬉しい。

誰の手も借りず自分の力で上った時の達成感は、大きな自信となる。

